

平成28年度事業実施報告

1. 概況

平成28年度は、熊本地震をはじめ多くの自然災害に見舞われた年でありました。また食肉業界を巡っては、生産・出荷頭数の減少等に伴う牛肉仕入価格の高騰により経営環境が一段と悪化する中、個人消費の低迷、さらには英国のEU離脱、米国のトランプ大統領のTPP離脱表明など引き続き厳しく不透明な状況が続きました。

こうした中、当協会では、食肉に対する信頼確保と更なる業界発展のため全国食肉事業協同組合連合会の委託事業として全国6ブロックで会員相互の情報交換、消費者等との意見交換等を目的とするセミナー、研究会の開催に取り組みました。さらに、これら各ブロックでの議論及び成果を踏まえ、(公社)日本食肉協議会の助成を受け、11月に山梨県において、全国会議を開催し、「食肉流通の課題とその対応—食肉需給の改善と消費拡大に向けて(サブテーマ)」についてグループディスカッション、さらに優秀論文の発表・表彰等を行い、食肉流通の課題解決に向け、全国ネットでの情報交換、交流、課題の共有化を図るとともに、次代を担う後継者・業界リーダーの育成に努めました。

一方、(公社)全国食肉学校との連携の下に実施している「お肉検定」は、昨年度5年目を迎え、1,573名と前年を上回り過去最高の受験者数となるなど、地道な取組の成果がみられました。

また、(一社)食品需給センターと協力し、全国規模での小売店価格調査のための調査店舗の選定等を行いました。

さらに、本年2月には、会員有志27名により「世界の肉屋を見る！肉を喰らう！」をテーマにイタリア、スペイン、フランスの食肉事情を視察、特にスペインでは映画「ステーキレポリューション」で和牛を抜いて世界1位になった牧場、レストランを訪れるなど、見聞を深めるとともに、その報告書のとりまとめを行いました。

協会会員に対して、「全国食肉ニュース」の発行、配布を通じて協会の活動状況等を定期的に情報提供するとともに、協会のホームページの内容の充実と情報発信や電子メールにより迅速な情報提供を行うなど、食肉業界の一翼を担う一般社団法人として、地道かつ積極的な取組を進めてきました。

なお、昨年4月の熊本地震被害に際しましては、会員から寄せられた義援金(総額102万円)を熊本支部に送金しました。

2. 事業実施概要

食肉に対する消費者の信頼確保、食肉販売業者の後継者の育成確保及び食肉販売業の活性化を促進するため、次の事業を行った。

(1) 食肉小売機能高度化推進事業（全国食肉事業協同組合連合会事業）

消費者の信頼を確保するため、消費者等へ食肉関連情報の普及を図り、国産食肉等の生産、流通に関する情報交換会を行うとともに、表示講習会等を開催した。

① 食肉情報交換会の開催

各地域ブロック、支部等において、消費者の信頼を確保する目的で、消費者団体、生産者団体等と情報交換会を開催した。

② 食肉表示講習会等の開催

食中毒を防止するため食品衛生法等の食品衛生法規、表示違反を防止するための食肉公正競争規約などの勉強、食肉表示やコンプライアンスの徹底を目的にした食肉表示講習会等の開催をした。

(2) 食肉流通改善研究事業（(公社)日本食肉協議会の助成事業）

今後の食肉流通改善に資するため、「食肉流通の課題とその対応 ～「利益の取れる食肉販売～」をテーマに6ブロックで研究会を実施し、その集大成として11月に全国研究会を開催した。

① ブロック研究会

ブロック名	開催期日	開催都市
東北・北海道	平成28年9月4日(日)	岩手県盛岡市
関東・甲信越	平成28年9月11日(日)	栃木県宇都宮市
京 浜	平成28年9月11日(日)	神奈川県横浜市
東 海	平成28年10月30日(日)	愛知県豊橋市
近 畿	平成28年9月14日(水)	京都府京都市
九州・沖縄	平成28年9月25日(日)	宮崎県宮崎市

② 全国研究会

- ・ 日 時 平成28年11月20日（日）
- ・ 会 場 山梨県富士吉田市 ハイランドリゾートホテル&SPA
- ・ 内 容 テーマ「食肉流通の課題とその対応」

ア グループディスカッション

8班に分け、各班10名程度でテーマ「食肉流通の課題とその対応—食肉需給の改善地消費拡大に向けて(サブテーマ)」についてグループディスカッションを行った。

各班からは、仕入価格高騰の厳しい状況の中、収益向上に向けた連携、付加価値向上、食育啓発活動など多様な取組が提案、発表された。

イ 論文発表

代表5名による論文発表

ウ 論文表彰式

なお、研究会の後、懇親会を開催した。

(3) 食肉検定事業

食肉協会は、(公社)全国食肉学校と協力して、消費者への正しい食肉知識の知識を広めるため、また食肉事業者のレベル向上のための「食肉講習会」、「食肉検定(お肉博士)試験」を実施した。

① 検定試験

実施日：平成28年11月6日（日）

会場：札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡 の6会場

受験申込者		合格		合格率	
1級	2級	1級	2級	1級	2級
1,174名	399名	694名	309名	59.1%	77.4%

② 講習会（平成27年度の第4回から1級受験者のみ対象）

実施日：9月24日（札幌）～10月23日（群馬）

会場：全国7会場で開催(本年度(28年)から群馬会場を追加)

講習申込者	参加者	受講率
988名	885名	89.6%

(4) 後継者育成・食肉通信教育事業

① 通信教育の補助

食肉の生産、流通、販売等に関する基礎的な知識を習得するため、(公社)全国食肉学校が行っている通信教育(「食肉流通業務実践コース」及び「食肉原価計数管理コース」)を受講するのに要する経費の一部を助成する事業を行った。

② 論文の募集と表彰

「食肉流通・販売」に係わることで、自由テーマで論文募集を行ったところ、5会員から論文の提出があり、全国会議の席上、最優秀賞1点 優秀賞4点の発表と表彰を行い、副賞を交付した。

(5) 食肉情報等提供事業

① 食肉調査研究事業

ア 食肉価格調査

(一社)食品需給研究センターの小売店価格調査に協力して、調査店の募集、選定等を行った。

イ 新商品開発

新しい食肉関係製品を商品化し会員に普及するため、国内外の新しい食肉関係製品について調査、研究を行った。

ウ 最新食肉事情調査

平成29年2月5日より2月12日(7泊(うち機内泊2泊)8日)の間会員有志により「世界の肉屋を見る!肉を喰らう!」をテーマにイタリア、スペイン、フランスの食肉事情を視察、特にスペインでは映画「ステーキボリューション」で和牛を抜いて世界1位になった牧場、レストランを訪れるなど、見聞を深め、その報告書のとりまとめを行った。

② 食肉情報提供事業

会員に対して、協会の活動状況等を全肉連の発行する「全国食肉ニュース」を配布した。

また、協会のホームページの内容の充実を図り、情報の発信を行うとともに、電子メールによる個人会員への迅速な情報提供を行った。

(6) 食肉関係製品斡旋対策

食肉販売の活性化の一助に資するため、会員に対して、食肉関係製品等を

斡旋販売する事業を行った。

(7) その他（熊本地震被害者による義援金の送金）

熊本地震の被害に対し義援金を協会会員にお願いしたところ、総額102万円が寄せられ、平成28年7月13日に熊本支部に送金した。

3. 総務関係

(1) 会議開催

① 平成28年度定時総会

- ・ 日 時 平成28年6月26日(日) 16時15分より
- ・ 場 所 アジュール竹芝
- ・ 議 題

ア 報告事項

- a 平成28年度事業計画及び収支予算に関する件
- b 平成28年度借入金の最高限度額に関する件

イ 決議事項

- 第1号議案 平成27年度事業報告及び決算の承認に関する件
 - 第2号議案 平成28年度会費徴収方法に関する件
 - 第3号議案 理事及び監事の報酬に関する件
 - 第4号議案 理事及び監事の選任に関する件
- 以上すべて提案のとおり承認された。

② 理事会

1) 第1回理事会

- ・ 日 時 平成28年6月26日(日) 15時10分より
- ・ 場 所 アジュール竹芝
- ・ 議 題

ア 決議事項

- 第1号議案 平成27年度事業報告及び決算の承認に関する件
- 第2号議案 平成28年度会費徴収方法に関する件
- 第3号議案 理事及び監事の報酬に関する件
- 第4号議案 理事及び監事の選任に関する件

イ 報告事項

- a 平成28年度事業計画及び収支予算に関する件
 - b 平成28年度借入金の最高限度額に関する件
 - ウ その他の事項 総会の進行手順について
- 上すべて提案のとおり承認され、定時総会に付することとされた。

2) 第2回理事会

- ・ 日 時 平成28年6月26日(日) 17時15分より
- ・ 場 所 アジュール竹芝

- ・ 議 題
第1号議案 役付理事の選定に関する件
総会終了後、総会において第4号議案（理事の選任）が承認されたことを踏まえ、役付け理事の選定を行った。

3) 第3回理事会

- ・ 日 時 平成28年3月28日（月）
- ・ 場 所 書面による理事会
- ・ 議 題
第1号議案 平成29年度事業計画及び収支予算に関する件
第2号議案 平成29年度借入金の最高限度額に関する件
第3号議案 平成29年度総会の招集に関する事項
以上すべての提案通り書面にて承認された。

③ 監事監査

- ・ 日 時 平成28年5月6日（金）
- ・ 場 所 （一社）日本食肉協会事務所 アジミックビル2階

④ 事業推進委員会・支部長会議

	月 日・場 所	内 容・議 題
第1回	平成28年6月26日（日） 都内 アジュール竹芝	（支部長会議） 全国会議の開催について お肉検定の実施他
第2回	平成28年8月28日（日） 都内 アジミックビル会議室	（事業推進委員会） 事業促進について
第3回	平成28年11月20日（日） 富士吉田市 ハイランドリゾートホテル&スパ	（事業推進委員会） 全国会議進行について 委員会活動報告他
第4回	平成29年3月4日（土） 熊本市 熊本ホテルキャッスル	（支部長会議） 事業促進について 支部活動報告他

(2) 協会・事務局及び会員の現況（平成29年3月31日現在）

①役 員

平成29年3月31日現在の理事・監事数
理事 20名、監事 2名

②事務局 2名

③会員数 合計273

1) 団体会員数	5 5 団体
食肉関係中央団体	1 1 団体
都道府県肉連	4 4 団体
2) 個人会員	2 1 8 名

監 査 報 告 書

一般社団法人 日本食肉協会
会長 布川 勝一 様

平成29年 6月6日

監事 ⑩

監事 ⑩

私たち監事は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からの職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以 上

第2号議案 平成29年度会費徴収に関する件

会費の年額（県団体20千円、全国団体100千円、個人12千円）を、年1回、9月末までに納入とすることについて承認を求める。

以上提出する。

一般社団法人 日本食肉協会
会長 布川 勝一

第3号議案 理事及び監事の報酬等に関する件

理事及び監事の報酬を無給とすることについて承認を求める。

以上提出する。

一般社団法人 日本食肉協会
会長 布川 勝一

貸 借 対 照 表

平成29年3月31日現在

一般社団法人日本食肉協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	70,405	156,157	△ 85,752
普通預金	2,130,990	1,543,862	587,128
未収入金	3,415,469	3,137,591	277,878
流動資産合計	5,616,864	4,837,610	779,254
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
電話加入権	100,000	100,000	0
その他固定資産合計	100,000	100,000	0
固定資産合計	100,000	100,000	0
資産合計	5,716,864	4,937,610	779,254
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,815,469	2,537,591	277,878
未払法人税等	70,000	70,000	0
預り金	35,168	34,831	337
流動負債合計	2,920,637	2,642,422	278,215
負債合計	2,920,637	2,642,422	278,215
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	2,796,227	2,295,188	501,039
正味財産合計	2,796,227	2,295,188	501,039
負債及び正味財産合計	5,716,864	4,937,610	779,254

正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで
一般社団法人日本食肉協会

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	4,532,000	4,469,000	63,000
県肉連会員	880,000	880,000	0
団体会員	1,100,000	1,100,000	0
個人会員	2,552,000	2,489,000	63,000
受取補助金等	4,815,469	4,537,591	277,878
全肉連事業助成金	2,815,469	2,537,591	277,878
日本食肉協議会事業助成金	2,000,000	2,000,000	0
事業収益	3,070,000	3,020,452	49,548
食肉検定事業委託金	1,396,000	1,400,452	△ 4,452
価格調査事業委託金	1,674,000	1,620,000	54,000
雑収益	1,818,824	1,713,771	105,053
受取利息配当金	24	321	△ 297
その他	1,818,800	1,713,450	105,350
経常収益計	14,236,293	13,740,814	495,479
(2) 経常費用			
小売機能高度化推進費	2,815,469	2,537,591	277,878
流通改善研究費	2,482,192	2,094,071	388,121
給料手当	2,066,400	2,066,400	0
法定福利費	343,207	317,649	25,558
福利厚生費	64,816	60,000	4,816
会議費	1,342,592	1,183,937	158,655
旅費交通費	290,238	193,296	96,942
通信運搬費	421,651	338,607	83,044
消耗品費	25,850	6,857	18,993
印刷製本費	69,336	58,320	11,016
新聞図書費	90,720	32,400	58,320
光熱水料費	166,677	117,064	49,613
賃借料	915,536	582,337	333,199
リース料	516,654	516,654	0
支払手数料	17,226	6,048	11,178
諸謝金	1,635,120	1,300,452	334,668
支払負担金	160,000	160,000	0
租税公課	70,000	70,000	0
雑費	241,570	454,708	△ 213,138
経常費用計	13,735,254	12,096,391	1,638,863
当期経常増減額	501,039	1,644,423	△ 1,143,384
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	501,039	1,644,423	△ 1,143,384
一般正味財産期首残高	2,295,188	650,765	1,644,423
一般正味財産期末残高	2,796,227	2,295,188	501,039
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,796,227	2,295,188	501,039

財務諸表に対する注記

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

1. 重要な会計方針

(1) リース取引の処理方法

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理をしています。

2. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当する債権はありません。

3. 保証債務等の偶発債務

保証債務等はありません。

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上の 記載区分
食肉小売機能 高度化推進事 業	全国食肉事業協 同組合連合会	0	2,815,469	2,815,469	0	
全国食流通改 善研究事業	(公社)日本食肉 協議会	0	2,000,000	2,000,000	0	

5. 関連当事者との取引の内容

該当する関連当事者はいません。

6. 重要な後発事象

重要な後発事象はありません。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

該当無し

2. 引当金の明細

該当無し